

日本伝統音楽研究センター研究紀要

『日本伝統音楽研究』

新型コロナウイルス感染症もこの5月で5類となり、社会に活気が戻り始めました。本学もまた、マスクの着用が任意になるなど、変化が訪れています。そして、本学はこの夏休みに、慣れ親しんだ沓掛から京都駅前校舎へと移転を控え、大学全体が慌ただしい雰囲気に包まれています。ここ、沓掛キャンパスからお届けする紀要は今号が最後となり、次号からは新キャンパスで編集・発行することになります。社会も本学も変化の時、我々伝音センターも新たな気持で活動して参りたいと考えています。

編集委員会